

平成30年第11回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成30年11月8日 午後3時30分
- 2 閉会 平成30年11月8日 午後4時50分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、金田真也教育長職務代理者、太田孝雄委員
天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
山本明子委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 宮川裕之
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 杉田哲利
生涯学習課長 森下 錬
スポーツ課長 鈴木信宏
文化財課長 増山禎之
中央図書館長 豊田高広
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 平成30年11月8日(木)
午後3時30分
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議 題
 - (1) 田原市図書館協議会委員の任命について
 - (2) 平成30年度一般会計教育費補正予算について
- 4 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 小中学校への寄附について
- 5 その他

教育長

開 会 午後 3 時30分

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

山本委員から欠席の連絡をいただいております。

ただいまの出席者は4名であります。定足数に達していますので、平成30年田原市教育委員会第11回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者としては、金田委員と天野委員のご両名を指名させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、議題に先立ち教育長報告を私からさせていただきます。

10月6日、小学校のバスケットボール大会が3会場で行われ、委員の皆様にも出席していただいたところです。決勝の記録につきましては、田原中学校会場は、男子が大草34点、神戸12点で大草優勝。女子は、神戸19点、大草17点ということで、神戸が勝ちましたが、大草は小規模校でありながら、両方決勝進出ということで、よく頑張ったなと思います。

田原総体は、男子が、福江31点、衣笠15点。女子が、田原中部35点、泉22点ということで、ここは決勝進出の重複がなかったなど。

渥美総体は、男子が、田原東部28点、野田24点。女子が、野田46点、高松10点ということで、野田は男子も善戦したのですが、女子が優勝し、こういったことを見ますと、野田、大草の頑張りが光ったかなというのが、バスケットボール大会の結果からでした。

10月7日、福寿園の文化祭が行われまして、子どもたちがおじいさん、おばあさんに向けた絵はがきコンテストという中で、いろいろな力作の応募がたくさんあって、審査の方々から熱心な取り組みに対して非常に評価をいただきました。

10月11日、学校保健会総会・研修会ということでありまして、講演が非常に興味深かったということで、杉田課長と最後までしっかり聞かせていただきました。「五感イキイキ！楽しく食べて子どもが伸びる」ということで、食育のヒントということで、あまり勉強、勉強と言うよりも、いい食育をしたほうが勉強ができるようにつながっていくよというようなお話も含めた、非常に示唆に富んだお話がありました。福江小の発表もありまして、非常によかったです。

10月14日、「ぐる輪サイクリング」が荒天の中、行われました。

10月19日、PTAの東海北陸ブロック研究大会愛知大会分科会開会式ということで、天野委員が事務局というのか、閉会の言葉をやりま

天野委員
教育長

して、よかったですね。緊張しましたか。

最後までいていただいて、ありがとうございました。

この会では亀山小学校の発表があって、能登の学校の発表もあって、小さい学校同士の発表でしたが、向こうのほうが大変だなと。亀山は、まだやることがいろいろあって、盛りだくさんで、向こうはどんどん寂しくなってしまうなという感じがして、10年前に合併して、もう四十何人です、そのような報告でしたので。亀山も50人を超していますが、だんだんあなくなっていくのですけれども、やはり少し学校の勢いが違うかなということで、半日勉強してきました。

10月20日、消防団のポンプ操法大会でした。この消防団は、やはり田原の子たちがそのまま上がっていく人が多いので、いろいろで入ってもらえば、これほどいいことはないのですが、地元に住みながらだんだん、これも団員の少子化に歯止めがかからないということで、消防団の統廃合もあるかなとは思っています。野田地区は伝統的に、やはり練習からすごく違うなという感じも含めて、気合が入っていました。もちろん、ほかにも一生懸命やっていましたが、その中で野田が目立ったなということでした。

その向こう側で中学校駅伝がありまして、今年が最後になりそうだなというような動きの中で、いい活躍ができました。また東三のほうで言います。

10月25日、研究発表会が田原中部小と衣笠小で行われ、委員の皆様にも出ていただいたところなのですが、これも天気がよかったので救われて、いい午後が過ごせたのではないかと思います。

10月27日、東三河中学駅伝大会がありまして、東部中学校の男子が昨年に続いて優勝。それから、東部中学校の女子が3位、福江中学校の女子が7位ということで、それぞれ11月17日の県大会で全国を競うということで、頑張ってくれると思います。

同日、東大寺サミット in USAと、これは大分県宇佐市ということで、北九州、小倉の駅から1時間くらい南におりたところへ行ってきました。東大寺サミットは、奈良、鎌倉、山口、大宰府など、東大寺にゆかりのある14市町が集まる会で、2年に1回開催されています。一昨年が鎌倉、今年は宇佐ということで、それぞれ神宮のあるところで、宇佐神宮は全国4万何社という八幡神社の総本社というところなんです。

私が一番感動したのは、このサミットの中で東大寺の僧侶と宇佐神宮の神主が7人ずつ一緒に拝殿にあがり、神主7人が祝詞を奏上し、それから、東大寺の僧侶たちが7人そろって読経するという。マイクもよい加減で、神社の拝殿に声が響き渡っていたということで、非常に不思議な空気感の中、時間を過ごさせていただきました。その他、懇親会とか、いろいろなところで話題交換をしながら、勉強もでき、2

年に一度で遠くもあるのですが、意味のある、非常に伝統を重んじた、いいサミットであるかなと思います。

私がまだそちらにいるときに田原市民まつりがあって、結構ダンスの人气があって、最近にない人出があったかなということで、これもやはり天気のためものかなというように思います。

10月31日、豊根村の豊根小学校で研究発表会がありました。小学生が村中で36名、1年生が4人、2年生が2人、3年生は10人くらい。ひょっとして小学生は、そのうち1桁になってしまうよなというような、そういう心配もするくらいですが、子どもたちは一人一人、一生懸命やっていました。そういう姿を見られるとともに、豊根小学校の校舎は全部木造の平屋建てで、廊下が結構広くつくってあり、伊良湖岬小学校の参考になるといいかなとも思いながら見てきました。

11月1日、田原南部小学校の芸術鑑賞会がありました。新日本フィルハーモニー交響楽団に、小学生の子ども向けの楽曲や、校歌を演奏してもらい、それからバイオリンの人などは、子どもの目の前でいきいきいきいやって、子どもがのけぞっておりました。そのように非常に親しみのあるコンサートで、楽団が60人いて、観衆が120人ちょっとでしたので、非常に穏やかな、いい時間だったかなということで、子どもは大変喜んでいましたし、地域の方もよかったし、何より楽団の人も最後に、いい子たちですねなんていうことで、観衆が少なくても演奏者が非常に気持ちよさそうな雰囲気を出していたので、これが一番うれしかったなと思います。

11月2日、教育長訪問。吉居君はジュニアオリンピックの3,000メートル優勝ということで。吉居君が立派なのは、優勝がうれしいというよりは、少し物足りない。なぜかという、ライバルがけがをして出られなかったので、この優勝は本物ではないなというようなことでした。

11月3日、市民文化祭。市民の皆さんのいろいろお花の中で、小学生もフラワーアレンジに挑戦していましたので、そういう部分も学校の先生が少し見てくれるといいなと私は思いました。多忙な中で、なかなか言いづらい部分もありますが、時間をつくってそういうものを見ると、子どものよさが少しわかるかなと思います。

縄文まつりも文化財課が総出で、少し曇って寒いくらいでしたけれども、縄文鍋がおいしかったですよ。

よかったです。

風がなくて、滞りなくできたかなと思います。

11月4日、田原市表彰式、皆さんにご参加いただきました。ありがとうございました。また何かありましたら、報告のほうでお伺いします。

11月5日、菊花大会の表彰式がありました。

サンテパークではこの後、全国井サミットというのが、この土日に

文化財課長
教育長

あります。

以上、私からの報告を終わりますが、何かご質問はありますか。

これより議題に入ります。

初めに、議案第30号田原市図書館協議会委員の任命についてを議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

中央図書館長

中央図書館から説明させていただきます。

議案第30号田原市図書館協議会委員の任命についてということで、1枚めくっていただきますと、協議会委員候補者の名簿がございます。全部で9名、全員再任の予定でございます。よろしく願いいたします。

教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問等がございましたら、お願いします。

備考をご覧いただくと、皆さん再任ということで、特に新たなというところはありませんか。

中央図書館長

はい。

教育長

いいですね。そういう形で再任されるということで。

では、ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第30号田原市図書館協議会委員の任命について、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第30号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第31号平成30年度一般会計教育費補正予算についてを議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課長

それでは、私から順に説明をさせていただきます。

議案第31号平成30年度一般会計教育費補正予算について。

平成30年度一般会計教育費補正予算については、別添によるものとするということで、本日提出の教育長名でございます。

この12月補正になりますが、現在財政当局のヒアリングを終えた段階で、結果が来ませんので、まだ実際には正式な数字ではないかもしれません。この後、12月の議会で上程させていただいて、お認めいただくという流れになりますので、よろしく願いいたします。

それでは、1枚めくっていただきまして、教育総務課から補正の内容について、説明させていただきます。

まず、債務負担行為がございます。中学校管理運営事業の中で、スクールバス運行委託料で、5年間の債務負担行為を組ませていただきたいと思います。

必要額は、まだ入札前ですので、概算ではございますが、総額で2億9,979万円となります。これは、来年の4月に伊良湖岬中学校と福江

中学校が統合することに伴う遠距離通学支援のためでありまして、統合前の3月には、バスの試走や学校との調整が必要となるために債務負担とするものでございます。

その表の裏面には、スクールバスの運行経費にかかる歳入見込みを示しておりますが、国庫補助がいただけるということで、国庫補助金として7,131万8,000円の歳入となりますので、一般財源としては、それを引いた2億2,847万2,000円が財源となります。

続いて、繰越明許費です。これは、伊良湖岬中学校の解体撤去工事費で1億2,000万円を計上するものでございます。これは、閉校します伊良湖岬中学校の跡地に新しく伊良湖岬小学校を建設するためでありまして、来年度の4月から早期に着工するための繰越しを行うものでございます。

この解体撤去工事にかかる国からの補助としまして、次ページに12月補正歳入予算要求書がございますが、この学校施設環境改善交付金で4,086万6,000円の歳入を見込んでおります。

なお、新しい伊良湖岬小学校の開設につきましては、2021年の9月から運用開始の予定として計画をしていきます。

次のページをお願いします。寄附金の歳入予算の計上でございます。

今年10月3日に豊島町の河邊彰彦様から、田原東部小学校の図書充実と教育振興のためということで、寄附がございましたので、今回歳入予算として計上させていただくものです。

続いて、歳出予算の説明をいたします。次のページをご覧ください。

小学校管理運営事業につきましては、総額で10億398万円を計上させていただいております。

次の2ページと3ページをご覧ください。

まず伊良湖岬小学校校舎建築工事空調機設置設計業務として、108万円です。これは、今後つくっていく伊良湖岬小学校の現在の工事の予定の中には空調機器の設置が含まれておりませんので、設置に向けて変更設計するための予算となります。

次に、小学校空調設備設置工事監理委託料として、1,070万円を計上させていただいております。

続いて、15節の工事請負費です。

まず1番、小学校空調設備設置工事で8億円の計上です。これは、小学校18校で174の教室に空調機を設置してまいります。

2番目の小学校トイレ洋式化工事で、7,400万円。トイレ洋式化につきましては、小学校で今も徐々に工事をやっておりますが、この12月補正分が121基で、洋式便器に取り替えます。これによって、設置の適正化率が100%となります。

3番目の泉小学校昇降口解体撤去工事で、650万円です。この昇降口につきましては、昭和51年に校舎と別に後づけで建てられました木造

の昇降口なのですが、普段は小学一、二年生の出入り口となっております。下駄箱もそこには設置されておりますけれども、この昇降口部分が非耐震建物と判明しましたので、この部分を撤去しまして、別の出入り口に変更して対応したいというものでございます。

次の4番、5番、6番の、高松小学校、赤羽根小学校、若戸小学校の屋内運動場防水改修工事についてです。

1校2,900万円で、3校とも構造が同じ部類ですので、同額の予算として計上しています。

この3校の屋内運動場体育館につきましては、田原町との合併当時に3校同時期に屋根改修を、重たい屋根から軽量というで行いましたが、屋上防水の劣化等によりまして、現在雨漏りがひどく、アリーナの床部分の腐食が進んでおりますので、今回改修を行ってまいります。

次の高松小学校プール廻り擁壁改修工事1,500万円と、少し飛びますが、10番の福江小学校ブロック塀改修工事220万円につきましては、今年6月に大阪の高槻市で発生しましたブロックの倒壊事故を受け、学校敷地内にありますブロック塀などの総点検を実施した際に、高松小学校のプール周りの擁壁が道路側に傾いているということが判明したため、この擁壁を改修いたします。

それから、福江小学校のブロック塀については、経年劣化によるクラックが多数見つかっておりますので、ブロック塀を撤去しまして、そこに新たにフェンスをつけかえるという工事を行います。

8番目の若戸小学校校庭フェンス改修工事670万円ですが、このフェンスは道路沿いにあるのですけれども、今年の台風24号で倒壊しました。もともとフェンス自体が低いものですから、これまで体育の授業や放課に子どもたちが使うボールが、そのフェンスを越えて国道42号に転がっていき、通る車に危ないということがありました。現状の復旧では危険回避ができませんので、今回その部分のフェンスをまずやめまして、高さのある防球ネットに変更するという工事となります。

9番目の若戸小学校プール防笹ネット撤去工事80万円ですが、これはプールの横にある隣地の竹やぶから、プールの中に風等で笹が入ってプールが汚れるのを防ぐために設置されていたものです。台風接近時には、毎回先生が手動でネットを巻いて下ろして対応していたのですが、今回竹の成長によりまして、ネットに竹が刺さって、もう下ろすことができないという状態で、台風19号が来てしまい、あおられて支柱ごと傾いてしまいました。きっと何回やっても一緒だということで、今回撤去をさせていただきたいということでございます。

次の4ページからは、先ほど歳入で説明させていただいた寄附金について、田原東部小学校管理運営事業の11節需用費に、児童用書籍の購入費と教務用消耗品、18節の備品購入費に、教務用備品として計上

し、充当していくものでございます。

次に、7ページの中学校管理運営事業ですが、総額で4億7,735万円を計上させていただいております。

まず、中学校空調設備設置工事監理委託料として335万円を計上させていただいております。

次に、15節工事請負費ですが、伊良湖岬中学校の解体撤去工事で1億2,000万円です。これは、先ほど繰越明許費のところの説明させていただきましたので、内容は省略させていただきます。

中段より下の学校施設営繕工事費のうち、まず1番目の中学校空調設備設置工事で3億1,000万円。こちらについては、中学校5校で69の教室に空調設備を設置してまいります。

2番目の中学校トイレ洋式化工事で、4,100万円です。トイレ洋式化については、残りの64基を洋式便器に取り替えることで、設置の適正化率を100%としてまいります。

最後、3番目の田原中学校コンピューター室空調機取替工事で300万円。これにつきましては、老朽が原因で故障してしまっておりまして現在使用できませんので、取替工事を行ってまいります。年が明けますと小中学校の空調工事に入っていく計画がありますが、この時期に入ってしまうとその工事が飛んでしまいますので、先にこの中学校のコンピューター室の工事を12月補正でやらせていただくという対応とさせていただきます。

少し長かったですですが、教育総務課分の12月補正については以上です。

続きまして、生涯学習課に移らせていただきます。1枚おめくりください。

生涯学習課は、市民館運営事業費、特に15節工事請負費を今回計上させていただきます。

総額といたしましては、3,116万3,000円でございます。

3ページをご覧いただきたいと思います。

工事につきましては、10の工事を要求しております。順次、ご説明させていただきます。

一番上の童浦市民館多目的ホール屋上防水工事でございます。

こちらにつきましては、従来から雨漏りしているということで、9月の補正で防水工事の設計の部分をお認めいただいております。そちらが上がってまいりますので、雨の少ないこの時期に工事を行いたいということで、今回計上させていただいております。金額は、1,096万2,000円でございます。

次に、市民館ガラス飛散防止フィルム貼付工事でございます。

こちらは、今年度襲ってきました台風など暴風雨が来た場合に、飛散してきますものによって市民館のガラスが割れてしまうというようなことが考えられるということで、市民館の事務室及び避難所として

活用したときの避難者がいるところの窓にフィルムを貼って窓ガラスの割れを防ぐというもので、15館予定をしております。金額といたしましては、221万3,415円でございます。

次の、市民館分電盤発電機接続改修工事でございます。

こちら、本年度台風によって長時間停電が起きたりということで、市民館の機能、あるいは避難所としての機能が麻痺してしまったということがございます。これに対応するために、外部発電機を接続して、中で電気を使えるようにしたいということで要求しているものでございます。1館30万円で20館全て行いまして、600万円要求しております。

次は、若戸市民館雨樋修繕工事でございます。

こちら、台風の強風によりまして若戸市民館の東西の雨樋が飛んでしまいましたので、こちらを改修するものでございます。119万8,800円、要求をさせていただいております。

次に、泉市民館窓気密性向上工事でございます。

今年も台風で南風が非常に強かったということで、特に泉市民館は、その風によりましてサッシのところから水が逆流というか、オーバーフローをして、室内に入って室内が傷んでしまったということがございます。それを防ぐために雨が入らないような工事を行うということで、149万1,480円計上させていただいております。

また、同じく泉市民館駐車場ネットフェンス取替工事ということで、こちら強風によって倒れてしまったものを改修するものでございます。30万2,400円でございます。

次に、田原中部市民館フェンス取替工事でございます。

こちらは、お祭りの日に器物破損というか、壊れてしまったのが確認できたということで、機械等が後ろにあるところでございますので、早急に直したいということで要求させていただいております。40万680円でございます。

次に、衣笠市民館多目的ホール空調機修繕工事でございます。

こちらは、今年の夏に空調機が壊れてしまいました。急遽、あまり使わない空調機の部品を取りつけて運転をしているわけですが、非常に老朽化しているということがございますので、内部の部品を取り替えて正常に作動するようにするというものでございます。63万8,280円でございます。

次に、市民館自動ドア装置修繕工事444万4,200円、同じく市民館エレベーター修繕工事351万756円。

こちらは、市民館にそれぞれついているものでございますけれども、いずれも10年以上経過しているということで、経年劣化による部品の取替えが必要なものということで、至急やりたいということで、今回要求させていただいているものでございます。

以上、10の工事が今回生涯学習課から要求させていただいているも

のでございます。

教育長 一旦、この辺で質問等があったら、また後でも受けたいとは思うのですけれども、早めに聞きたいことがありましたらどうぞ。

太田委員 スクールバスの運行委託料、かなりのお金になるのですが、国からの国庫補助というのが年度によってばらつきがあるので、どういう計算でしょうか。

教育総務課長 遠距離通学支援のためのスクールバスの補助金ですので、伊良湖岬中学校の生徒が全員対象になるわけではなくて、補助率があるのですけれども、その中の詳細な計算表の中が、伊良湖岬中学校エリアの生徒の中で、6キロメートルを超えている子だけが対象になるので、それが毎年生徒が変わっていくと。

太田委員 生徒数の。

教育総務課長 はい、変わります。そこが出てきますので、その5年間の中でも補助金の額が変わってくるというのもあります。

太田委員 バスの運行自体のお金は変わらないけれども、生徒数が変わるから補助金が変わってくるのですね。

教育総務課長 そうです。

太田委員 わかりました。

教育長 それでは、文化財課。

文化財課長 文化財課からお願いをいたします。

1 ページ目でございますが、文化財課の補正は、崙山会館の運営事業でございます。

こちらを1枚おめくりいただいて、3ページ目を見ていただきますと、生涯学習課の市民館と同様に崙山会館も避難所ということで、緊急用の発電、災害用の発電機をつけるということで、この分電盤発電機の接続改修工事を行うものでございます。

補正額については、30万円でございます。こちらは、生涯学習課と一体となって整備をしていく予定でございます。

以上です。よろしく願いいたします。

教育長 続いて、お願いします。

中央図書館長 続きまして、図書館運営事業として、工事請負費891万円を要求しております。

おめくりいただきますと事業の概要がございますが、中央図書館の空調設備の修繕ということです。特に夏は館内が冷え切らず、30度を超えてしまうこともある状態ということで、いろいろ苦情も出ております。したがって、修理が可能な空調機器について、修理を行うことで夏冬の冷暖房環境を改善するというので、先ほど申し上げましたとおり891万円要求をするものでございます。

以上、よろしく願いいたします。

教育長 以上、説明が終わりました。ご質問等がございましたら、お願いし

	たいと思います。
	結構たくさん補正が出ていますが、補正ができるのも本年度の税収の見込みが上がっているということで、今年度の税収を来年に送るかという、そういうことができないのですね。ということで、今年でほぼ使い切るといようなことで、どこまでやれるかということで、やれることは災害のことなのですが、進めていかないとということで。
	何か、つけ足しはありますか。
教育総務課長補佐	すみません。スクールバスの歳入の関係で、債務負担行為の見積書の裏面に歳入の見込みの表があると思うのですがけれども、そちらの補助率は2分の1です。補助対象経費というのが、実際運行にかかった経費の中から、対象になる児童数で割り返した経費の2分の1が補助金になります。
教育長	この補助は5年間。
教育総務課長	はい。5年間、受けられる。
教育長	伊良湖岬小学校については、この補助を受けられる期間が終了しつつあるということもご理解いただいて、その後どうするかについては、今、考えているのですがけれども、今度は自分のところでということで、自分たちのバスを出せるといいなというような。
教育総務課長	そうですね。市長もそういう話をいただけるのですがけれども、この委託で毎年この金額を、ずっとスクールバスを走らせる間に実際の学校現場にお金が回っていかないという現状がありますので。
教育長	結構こうやってみると、バス代が。
教育総務課長	また3年後に泉中学校と赤羽根中学校の統合がありますので、それまでには何とかしたい。
教育長	すぐに歩道も、自転車道ができるわけではないので、次の代にも、できるだけ少なくしたいとは思っているのですが。
教育総務課長	先ほどの見込みの表でいきますと、来年度、平成31年度は、バス乗車見込みが90人いるのですが、実際に補助対象で6キロメートル以上の子が41人ということで、半数は6キロメートル未満なので、本来なら自転車で通学できる距離なのですね。ただ、渥美の総合体育館から保美までのルートのところも自転車道が整備できていないので、安全確保のためにスクールバス。
天野委員	あそこは危険ですね。
教育長	はい。いろいろな方が運転していますので、子どももそういう中で交通事故があっては。
	あと、エアコン等もスピードを上げて進めていくということで、今、来年の夏には使えるような計画で進んでいますね。
教育総務課長	そうですね。夏前で、一応6月末までを目標にという形で今進めておりますが、これはいかにせん入札が。
太田委員	これは、国もそういう動きがあって、そういう補助金的なものはい

教育総務課長

ただけないのですか。

いただけます。いただけるのですが、先ほどと同じようにかなり率が、計算式というのがあるって、結局設置した費用への3分の1ではなくて、面積割で来るので。結局そこが、どこの教室にどれだけつけたというような感じになると、学校の敷地面積ではないので。小中学校で今、エアコン、空調で予算を予定しているのが11億円あるのですね。恐らく、その10分の1もらえたらいいのではないかというくらい、1億円あるか、ないか。

金田委員

先ほど課長が小学校18校174室と言っていましたけれども、あれは使っていない部屋は入れないということですか。空いている教室とか。

教育総務課長

まずは、普通教室といわれる教室と特別支援教室、ここの数ですね。部屋数がその174、小中学校だと243ですけれども。例えばそれ以外の理科室とか、特に子どもたちが集まる体育館とかいうのは、要はその次というよりも、まずは国のほうも、子どもたちが常に生活している場所をとということなので。

金田委員

教室ですね。

教育総務課長

そこについての補助が今回認められているので。ただ、体育館がまたなるといって、大変なことです。

教育長

今年停電も経験しているので、エアコンをつければ万能ではなくて、みんなでエアコンを使ったら、計画停電ではないけれども、一斉になんて言うことも。

金田委員

まだ先の問題もありますけれども、一応こうやって進めていくと。

教育長

はい。わかりました。

ということで、質問等も終わりましたので、議案第31号平成30年度一般会計教育費補正予算について、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第31号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いしたいと思います。

では、最初に、金田委員からお願いします。

金田委員

10月4日木曜日に、田原市教育研究総合発表会に出席してきました。自分は各部会がある中で、今回道徳の部会を選択して参加させていただきました。選考理由としては、教科用図書の採択で出かけたときに、教員の方々と話をしていた、すごく思いが伝わってきたということで、道徳を今回聞かせていただきました。30代前半くらいの先生が、道徳について発表していたのですが、そういった発表に対して中堅の先生が終わった後に助言とか、それ以外にも道徳の研修に3日間行

った人が、研修の内容を道徳の部会の人たちに発信していたということで、その研修の内容を共有しているというところが、とても意義のある部会だったというように感じました。

あと、田原南部小学校ということで、増築された教室も後で少し見させてもらったのですが、特別学級教室が狭めにつくられていて、畳のようなものが敷いてあって、子どもにとってとても過ごしやすい環境につくってあったのを見て、温かみを感じました。

10月6日、バスケットボール大会に出席したのですが、整列しているときに礼をやったら、ぎっくり腰をやってしまいまして、そこでギブアップということで。でも、伊藤悦子先生や杉本説子先生がいたので、いろいろな話ができるなと思って楽しみにしていたのに残念でした。

7日もスポーツギネス大会ということで出席しました。舞台の上でも鈴木課長がプロデューサーのように、次はどうしようかなというような感じで見ていて、多分考えているんだなということだけは見えました。

10月24日に、学校訪問で、午前中は東部中学校に行ってきました。一言で言うと活気のある職場、若い職場という感じで、とにかく一生懸命やっているという感じが伝わってきました。その中で、若手を育てるために中堅の方々とか、校長、教頭、校務の先生でもそうだと思うのですが、一生懸命やっているのが伝わってきました。農家をやっている、どちらかというとうらやましいなという感じも見えました。

昼からは大草小学校に行かせていただきました。子どもたちに考えさせる工夫を、とにかく先生方がやっているなという感じがしました。決して校舎は新しくないので、音楽の授業では、段差があるところをいすにして、いすを机にして、先生に注目を集めさせるように工夫をされていたり、あとノートでも先生のコメントがびっしり書いてあって、そうすると多分後で見直すのではないかという感じがして、とても先生が子どものためにいろいろ努力をしているということを感じました。あと、部活動に対しても、30分短縮をしたということの中で、先ほど、教育長からバスケットボール大会の結果を、男子が優勝、女子が2位だったということを聞いたときに、内容の高い部活動ができているということを感じました。

次に、その後日、10月25日、ふるさと教育研究発表会ということで、僕は衣笠小学校に出席させていただきました。公開授業の中では、今、田原市の教育委員会が一枚岩でやっている「ふるさと教育」を1年生から6年生までやっていて、地元の人たちが学校に集まってゲストティーチャーとなって、衣笠といたら清谷川の蛍とか、稲荷神社とか、ゴーヤトンネルとか、学芸会でやっている江崎巡査、あと防災のこと

中央図書館長
金田委員

とか、いろいろなこういうことを、大人が先生となって子どもたちに指導しているということをやっていました。子どもたちのためだけでなく、地域の人たちにとっても、ためになっているなというのを感じました。

その後、「21世紀を走り抜ける力。なぜ学校と地域との協働が必要か」というテーマで講演を聞いてきたのですが、その中で先生が言うには、こうやって授業に地域の人が入るのは珍しいということをおっしゃっていました。自分が一番印象に残ったのは、減らすべきこと、今、多忙化ということですのでぐいわれていて、どんどん新しいことを取り入れるのですが、減らせていない。そういったことを勇気を持って減らすことも大事だよということをおっしゃっていました。

それと、市民まつりで、図書館のイベントを少しやっていたのでのぞいたのですが、是住さんが英字新聞で本を包んで、何かわからないというようなものを。

闇鍋です。

闇鍋。それで、僕はあまり本を読まないのですが、是住さんが包んだ本なので、借りてみようかなと思って借りたり、あと黒電話がたくさん置いてあって、それは自分が子どものときに使った電話なのですが、今の子どもたちにとっては目新しいもので、自分がこの黒い電話を使っていたころは、今のスマートフォンは想像できなかったと思っていたのだけれども、子どもは逆の経験をしているのかなという感じで、興味深くさわっていました。

あと、10月31日に認定農業者の講演会に出たのですが、近藤寿市郎と豊川用水ということで、藤城信幸先生が講師としてやっていたのですが、文化財課の山本君の話聞いたのは、また少し違った農関係の話で、とてもわかりやすくよかったということと、聞きに来ていた農家の人を見ると、やはりこういったことを頭に入れようと思っている人は、言っていることが新しいというか、少し違うというか、いろいろなことを考えている人たちが、過去の経緯というものを勉強したくて来ているという人が割と集まっています、おもしろかったです。

最後に、11月4日、田原市表彰式に出席いたしました。

以上です。

ありがとうございました。では、太田委員、お願いします。

教育長
太田委員

私は、10月6日のバスケットボール大会は、プライベートの都合で欠席させていただきました。申し訳ありませんでした。

16日に、六連小と高松小の学校訪問に行かせていただきました。六連小学校は、研究指定の1年目ということで、ほとんどの教科、生活科と社会科で、生活に生きて働く資質・能力を育む授業ということで取り組んでおりました。学年、あるいは指導者によって、まだ研究にばらつきがありますが、子どもたちは大変意欲があって、教師

の指導の工夫とか、声かけとか、教材とか、そういったものが順次研究が進んでいるなということを感じました。

六連小学校は教職員が少人数ですけれども、小学校経験の少ない教員グループということで、それが課題だということを言われまして、チーム六連で取り組んでいきたいということでした。また、子どもたちも少人数ですので、研究を進めていく上で子どもたち同士のかかわりの難しさも一つ課題になっているかなということを感じました。

それから、午後の高松小学校は、授業については、ほとんどの教科で取り組んでおりまして、新しい学習指導要領への対応も順次始めているということで、私が高松小学校で一番引かれたのは、全学年、俳句に取り組んでいるということで、これは平成24年、平成25年に研究がありまして、それ以来ずっと、感性を磨くということで、外部の指導者も入れたりして、継続して取り組んでいるところがすばらしいなと思いました。

事務職員からは、施設が大変老朽化しているということでしたがけれども、午前中に行った六連小学校に比べると、施設については大変整っているし、明るい環境であったように思います。

それから、10月18日に赤羽根中学校と泉中学校の合同合唱祭に行かせていただきました。昨年から2回目ということで、大変円滑な運営がなされておりました。ただ、会場の席数が、生徒だけでほぼいっぱい近くになってくるものですから、保護者については、学年によって入れかえを呼びかけて、それも大変スムーズに行われておりました。

赤羽根中学校が6クラス、泉中学校が3クラスで、1年生から3年生まで全部で9クラスで競うということで、クラスの人数、あるいはその学年の成長の差はありますけれども、最優秀賞は泉中学校の2年生で、優秀賞が泉中学校、赤羽根中学校の3年生の全3クラスということで、一つは競争で競い合うということと、もう一つは、泉中学校、赤羽根中学校の友好を考え、教育的配慮がありましたねということをお話したら、あれは本当に審査員がそのように審査して決めたということで。外部からの審査員、伊藤悦子先生とか、そういった外部の方がやっていたものですから、とてもいい、狙いに合った合唱祭ができたのではないかとこのように思いました。

それから、25日に田原中部小学校の研究発表会に行ってきました。「自ら学ぶ子」ということで、考えることを楽しむ授業づくり。中部小学校は、前にキャリア教育、夢育の取り組みをやっていましたので、その延長線として、その後、新しい学習指導も含んだ教科の学習に発展させていくということで、子どもたちも先生方も大変精力的に取り組んでいて、いい子どもや先生の姿があったように思います。教育長のご挨拶や課長の講評にあったように、市内の各学校や先生方に中部小学校のモデルを広げていくことが今後できていけば、さらに中部小

学校の研究が生きていくのではないかということを思いました。これは、いつの研究発表会でも同じですが、その学校は研究を進めていくのだけれども、それがやはり市内に広げていくということで、今回でも中部小学校で言うと、学年教科ごとに後で授業を語る会のようなことをやっていたけれども、あれは大変いいなというように思いました。各教科部会のような感じも受けましたけれども、校長先生や教頭先生、教務の先生あたりも一緒に入って、若い先生方にアドバイスをしたり、意欲を喚起したり、そのような姿も見られましたので、とてもいい研究発表会だったと思います。

11月4日の表彰式は、私は文化協会があったものですから、一応出させていただきました。

以上です。

教育長

文化協会の作品展示もあれですけども、演技も皆さん、力が入っているの、全部見切れませんが、すごいですよね。

太田委員

今年は子どもも見ていたりしたものですから、どうしても文化協会は、かなりいろいろな作品、いろいろな部会が高齢化しているのですけれども、ああいった子どもたち、若い人たちをもっと入れていくようなことが必要ではないかということ。

教育長

そうすると、その1週間前にダンスのほうで。

教育部長

市民まつりのキッズダンスですね。

教育長

市民まつりで、そうやって燃える部分が、文化祭だとおとなしげな。もう少し、せっかくいいものもあるので、盛り上がるとういかなとは思いながら。なかなか今後、課題かなと思いますけれども。ありがとうございました。

天野委員

では、天野委員、よろしくお願ひします。

よろしくお願ひいたします。

まず、初仕事は6日のバスケットボール大会は、渥美総体で参加させていただきました。試合のときには雨も小降りだったのですけれども、渥美総体は体育館内に各コートが2面あったのですけれども、1か所ずつくらい雨漏りがありまして、先生方がタオルで一生懸命対処していて、試合中も気をつけるようにという指導があったり、幸いぼとぼとというか、つたって落ちたような感じだったので、試合のときには大丈夫だったのですけれども、そういったことがありました。

少人数のところは、やはりどうしても4年生から出場している学校があって、バスケットボールというと体格差が結構出してしまうスポーツだなと。

あと、6校の校長先生たちと並んで、いろいろ教えてくださったのですけれども、先生によっていろいろな反応が。舞台の上から拍手されている先生もあれば、静かに「よし」という先生もいたりして、さまざまでおもしろかったです。

10月7日、金田委員と一緒にスポーツギネス大会に参加させていただいたときには、今、田原でレベルの高い、全国レベルの陸上競技の選手たちが壇上に上がられてきて、一生懸命頑張っているんだなと思って。私の高校時代の恩師の伊藤朝一先生がいろいろ、今はレベルが高い選手がそろっているんだよなんていう話を教えてくださいました。ソフトテニスと空手と陸上競技の表彰が多かったですね。

それから、15日に、初めての学校訪問で泉小学校に行かせていただきまして、緊張してきょろきょろしてしまったのですが、校長室や玄関に、地域の方からいただいたバラや観葉植物がきれいに飾られていました。

「わかる」「できる」が実感できる授業づくりに努められていらっしゃるって、「認めて、褒めて、自信を持たせていこう」という言葉にとっても感動しました。

午前中からだったので、最後にご褒美に給食をいただいたことがとてもうれしくて、たまたまその日、うちの下の娘が高1なのですが、学校公開日の振替休日で家にいましたので、とてもうらやましがられました。ついこの間、中3まで食べていたはずなのに、とてもいいなということで、給食の思い出というのが結構、小中学校のいい思い出になっているんだなと思いました。

それから、25日の田原中部小学校の研究発表会に、太田委員と一緒に出席させていただきました。これも初めてだったので、先生方が本当に一生懸命、よりよい授業のために勉強されているんだなということで、田原中部小学校の資料の入った袋に大きく、「自ら学ぶ子」という文字がとても印象的でした。

全校を回った後の、各教室での語る会、あれが私、新鮮で、本当に先生方が一人一人、ここはよかった、ここは改善すべきだというのを、色違いの附せんを貼って、大きな模造紙というか、板書がしてあるもののところに、ここはいいよとか、ここはこうすべきだよというようなことが、若い先生からベテランの先生までが本当に話し合っていて、先生方もこうやって子どもたちのために学習されているんだなと思って、ありがたいと思いました。

あとは、全体会で愛教大の加納先生の講演をお聞きしたのですが、とても先生方に対して子どもたちの導き方を教えてくださいまして、私は教育は素人なのですが、とても興味深くて、1時間の講演があつという間でした。

それから、27日に、田原市博物館の開会式に出席させていただいて、地元の古田町出身の平井先生の絵を見せていただきました。博物館にお邪魔するのは、実は初めてで、それも新鮮だったので、作者の先生がずっと絵を1枚ずつ説明してくださるといことが、とてもすごいなど。ありがたい機会をいただきまして、機会があれば、

また足を運びたいと思うのですけれども、家に帰りまして、ちょうどうちの父と同じ年代だなんて思って、父に聞きましたら、同級生だということで、大勢いるベビーブームの時代ですので、かかわりはなかったそうなのですが、名前は知っているぞということで、父もぜひ誘ってみたいと思います。

あと、29日、中山小学校に学校訪問に行かせていただきました。こちらが地元の小学校ということで、昨年、私も中学校のPTAでソフトバレーの練習試合をよくした対戦相手だったのです。そのときには、体育館しかお邪魔していなかったのですけれども、ふるさと教育で全校で潮干狩りをされているということで、そこにもPTAがご協力をされているということで、いいなと思いました。

あと、私たち旧渥美地区ですと、やはり福江と中山は大きい学校というイメージなのですけれども、中山小学校も5年生以外は本当に単学級で、それもびっくりしたのです。でも、単学級になっても1学級30人以上の学級が多いので、担任の先生の負担が大きいということをおっしゃっていて、日ごろのノートとか、成績をつける作業とか、勤務時間のオーバーのお話で、校長先生がこれから改善していきますという、仕事の持ち帰りや休日出勤を改善していきますということをおっしゃっていました。先生たちも一生懸命やったださるのですけれども、減らすということがなかなか難しいのかななんて思って。ありがたいと思いました。

それで、4日に、田原市の表彰式に参加させていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

何か、全体で言い忘れとか、質問とかはありますか。

では、続いて、報告事項の(2)小中学校への寄附についてを事務局から報告をお願いいたします。

それでは、報告させていただきます。

1枚、本日現在という寄附一覧がございます。前回までに3番まではご報告させていただいておりますが、今回新たに、先ほども少し12月補正でお話しさせていただきました、4番目の10月3日に河邊彰彦さんから、田原東部小学校への寄附がございます。12月補正で対応させていただきます。

5番目の10月15日に、これは毎年寄附をしていただいているところですが、三河ミクロン株式会社様から、花いっぱい運動推進並びに環境教育向上のためということで、小中学校を含めまして、草花用の培養土と申しますか、土を寄附していただいております。内訳として、そのうちの半分は市内19保育園への寄附も含まれているということでございますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。

教育長

教育総務課長

教育長

ありがとうございました。

何かご質問はありますか。三河ミクロンさんには、例年行っていたいておりますので、来年以降もいただけるとありがたいなということでもあります。

教育長

それでは、次に、その他について、事務局、何かありますか。

教育総務課長

すみません。1点、教育総務課からお願いします。

最後に資料を1枚つけさせていただいておりますが、田原市教育委員会の表彰規則がございます。その規則の改正ではなくて、取扱事項の一部変更をさせていただきたくて、今回ここで話しさせていただきます。

田原市教育委員会表彰規則の中で、毎年教育委員会を含めて選考委員会を開いて、3月に教育委員会表彰を開いているのですが、その基準的な日の決め方ということで、どこまでの大会をその年に決めるかということで、中段下にあります、今、黄色で色分けがしてありますけれども、3番として、「表彰の対象となる大会等は、原則として前年度1月から本年度12月までの間に開催された大会とする」ということに変えさせていただきたいというものです。

これまでは、原則として前年度3月から今年度2月までの間に開催された大会というようになっておりました。これは、その3月から2月までにしますと、そこから3月末に表彰式をしているということがまずあって、年度末ということで、大変な時期にいつもやっているということ。それから、それには12月までに大会が終わったものに、審査を変えたことによって、3月の表彰時期を少し前倒しさせていただくということ。それから、年度よりも1月から12月という年区切りにさせてもらったほうが、各学校や各種団体からの審査の申し込みもしやすいという点もございますので、今回この原則の月を年という形にさせていただきたいというものです。

1枚めくっていただきますと、最後に赤字で、ただしということで、今年度、平成30年度についてのみですが、既に前年度の表彰対象となっている期間と重複を避けたいので、前年度3月から今年度12月までの期間に開催されたもので審査をしていきたいということでございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

教育長

教育委員会表彰につきまして、何かご質問はありますか。趣旨は、よろしいですかね。

実際、委員の皆様にも出ていただいておりますが、3月31日にせわしくやっけていて、退職された先生たちを追い払うようにして次の準備をしていたというのも現実ですので、いろいろ業務についても前倒しを。では、そういうことでご理解いただきたいと思います。

中央図書館長

ほかにどうですか。

すみません。図書館です。

ペーパーを持ってこなかったの、後で分けさせていただきます。

12月9日の日曜日ですけれども、片仮名で「ブラアカバネ」というイベントを赤羽根文化会館の周辺で実施いたします。このブラアカバネというのは、ブラタモリのもじりなのですけれども、赤羽根の地区をまち歩きした後で、図書館などの資料をもとにしてウィキペディアの赤羽根に関する項目を新しくつくったり、編集し直したりするというもので、それ以外にも、例えば電照菊という項目の中に少し赤羽根について書いたものを入れようとか、いろいろ今、話をしております。

定員20名募集というようなことで、募集が始まったところです。主にホームページなどを使って募集をしておりますけれども、これは、今年副館長として赴任した是住が中心になっている事業です。後ほど是住がチラシを持って回るのではないかと思いますので、よろしくお願いたします。お時間などがありましたら、少しのぞいてみていただければと思います。

教育長

12月9日ですね。ブラアカバネがありますので、お願いします。

そのほか、いかがでしょうか。

どうぞ。

文化財課長

縄文まつりのついでに、吉胡貝塚資料館で保美貝塚の日本一マッチョな人骨のレプリカを国立科学博物館の協力で作らせていただいたということで、その公開を12月27日、今年いっぱい吉胡貝塚資料館で行っております。NHKでも取り上げていただいて、ひそかに、とにかく日本一筋骨隆々な人は渥美半島の人だったという縄文人がありますので、ぜひまた見学をよろしくお願いいたします。

教育長

渥美半島がアスリートの半島という証明にもなるかな。

そういうところで、入ってすぐ右手にありますので、少しお寄りいただくといいかなと。

文化財課長

よろしくお願いいたします。

教育長

いわゆる健康的な体をしていたと言い切れるかどうかわからないですけれども。

文化財課長

健康的な渥美半島人、田原人ということで売り出しを。

教育長

きっと骨が、アサリなどの海水を含めた、カルシウム、カリウム等も栄養がよかったのではないかと。勝手に私が言っている、あれだけれども。

文化財課長

そのとおりでございます。

教育長

ということで、やはり渥美半島の宣伝に、昔からそうやって自然と栄養に恵まれた、漁から農へという感じでもあるのですけれども。そういうことで、マッチョの縄文人ということでご覧ください。

そのほか、いかがですか。

では、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了しました。
ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第11回定例会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後4時50分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員